

論文博士審査結果報告書

平成 29 年 8 月 02 日

論文提出者	論文審査担当者
専攻領域 リハビリテーション科学領域	審査委員（主査） 村尾 浩
専攻分野 生活支援補完分野	審査委員（副査） 春藤 久人
氏名 小枝 允耶	審査委員（副査） 阪井 一雄
論文題目 大腿骨近位部骨折を受傷した女性高齢者における退院後の生活空間と転倒自己効力感との関連性：継続入院者を対照とした横断研究	
審査結果 論文提出者は、大腿骨近位部骨折術後の女性 46 名を対象に、生活空間の広がりや転倒しない自信（転倒自己効力感）の関連性について解析を試みた。 本研究では大腿骨近位部骨折術後の女性において、歩行能力や日常生活動作能力が生活可能な状態に改善した時点で自宅に退院した方が、歩行能力や日常生活動作能力が生活可能な状態に改善したのも関わらず社会的要因で退院できなかった女性に比較して、より生活空間が転倒自己効力感も向上することを明らかにした。これは、大腿骨近位部骨折に手術治療および後療法がうまく機能したとしても、転帰先が自宅以外であれば生活空間の広がりや転倒自己効力感の向上を阻害する可能性を示唆するものである。 リハビリテーション科学領域生活支援補完分野での価値ある業績であり、博士の学位を得る資格があると認める。	
審査委員（主査） 村尾 浩	

